

令和4年2月24日

高齢者施設・事業所管理者 様

松山市長 野志 克仁

（公 印 省 略）

高齢者施設の感染防止対策について（お願い）

日頃から、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策への御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年1月以降、全国的にオミクロン株の感染が急拡大し、本市でも、連日のように複数の施設で感染が発生し、大規模なクラスターも報告されています。

オミクロン株は、高齢者が罹患すると全身状態の悪化を引き起こし、入院が長期化するとの指摘もあり、改めて感染防止対策を徹底する必要があります。

そこで、本市や全国で確認されているクラスター発生事例（別紙参照）を踏まえ、下記のとおり留意事項をまとめましたので、改めて感染対策の徹底をお願いします。

記

1. 食事時間をできる範囲で分散し、共用部分の利用前後の消毒を徹底
2. 食事の際には、換気を十分に行い黙食を徹底
3. 食事前後、トイレ後、共用の場所を触った後の手洗い
4. 入浴時間をなるべく分散し、入浴介助の際も、職員のマスク着用を徹底
5. 利用者へ可能な限りマスク着用を依頼
6. 部屋の換気を定期的を実施
7. 職員の体調管理を徹底し、入所者に感染を広げない
8. 職員等の出勤時の対策（時差出勤、自家用車等による出勤の推進）
9. 軽微でも風邪症状がある場合は、速やかな受診とPCR検査の勧奨等
10. 複数人数での移動時における車内の換気とマスクの着用、会話の抑制
11. 自宅や家族間においても体調不良者がいる場合、相互にマスクを着用
12. 3回目ワクチン接種の推奨

松山市介護保険課 事業者指定・指導担当

電話番号：089-948-6968

《高齢者施設等で感染が拡大したと考えられる事例》

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの昼食介助	高齢者施設約 15 名	介護場面での、職員・利用者の密接な接触。職員は昼食時はマスクなしだった（会話はしないようにしていた）。
食事時の感染防止策の不徹底	特別養護老人ホーム約 60名（入居者、職員）	居住階の異なる入所者が食堂に集合し、向かい合わせ、パーティションなしの状態ですべての食事をとっていた。

《対策例》・職員、利用者ともに常時マスクを着用 ・定期的な換気
 ・ゾーニングの指導・徹底による拡大防止 ・共用部分の利用前後の消毒の徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの入浴介助	介護施設等（複数施設で発生）	入浴介助に際し、息苦しさから介助者がマスクをはずして感染を拡大させた。
複数人による同時入浴	高齢者施設で 10 名以上	浴室は共同で、複数人が同時に脱衣室を利用していた。

《対策例》・入浴時間帯を分けるなどの分散入浴の実施 ・職員の常時マスク等の着用
 ・お互いに顔を近づけず、会話を控える ・入浴中も換気を徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
送迎車内の換気不足	デイサービスの送迎車内複数人	送迎中に換気のため窓をあけていたが、車内循環の暖房を常時入れていたことから、換気が不十分であったと思われる。

《対策例》・送迎車の十分な換気対策の徹底 ・エアコンの外気導入の徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでのカラオケや食事会の実施	デイサービス 5 名	デイサービスのイベント行事の一環で、マスクなしで集団でカラオケや食事会をして感染が拡大した。

《対策例》・入所者へのマスク着用の勧奨 ・職員のマスクとアイガードの着用の徹底 等
 ・大声を伴う活動を控える

《高齢者施設等における好取組事例》

- ・食事の際など利用者が使用する机には、アクリル板を設置している。
- ・施設の構造や利用者の特性を考慮したゾーニングや環境消毒について事前に検討し、対応方法を職員間で情報共有しており、陽性者が出たその日にゾーニングをはじめとした初動対応を開始し、感染拡大が抑えられた。
- ・有症状者の検査結果が出る前から、職員全員がN95マスクや長袖ガウン、手袋、フェイスシールド及びキャップ装着を標準装備として、介護業務に対応した。
- ・人員が不足した場合に備え、別法人と応援職員を派遣し合う協力体制を構築している。